

News Release

マクセル株式会社様の非接触 HMI「Advanced Floating Image Display」に 日本カーバイド工業の空中ディスプレイ用リフレクターが採用されています

日本カーバイド工業株式会社(本社・東京都港区、代表取締役社長・杉山孝久)の「空中ディスプレイ」技術が、マクセル株式会社様の非接触 HMI「Advanced Floating Image Display(以下 AFID)」に採用されています。

AFID は、マクセル株式会社様がこの度新たに開発された LLIS 技術により、高輝度かつ高コントラストな空中映像を表示することができ、さらに高精度センサーとの組み合わせで、空中に表示されたスイッチやアイコンをタブレット端末のように操作することができます。画面に直接触れることなく操作ができるため、医療機関、金融機関、商業施設、交通機関など、不特定多数の人々が利用する場所において、感染症対策や衛生面での配慮が必要な場面での需要が見込まれます。

マクセル株式会社様は、この LLIS 技術を採用した新映像装置を、非接触 HMI としての「空中映像表示システム」のコア技術と位置付け、2020 年後半からの市場調査を経て 2021 年に非接触 HMI 「Advanced Floating Image Display」として市場投入される予定です。さらに、現在同社にて開発中の 3D 映像表示技術と併せて、今後はデジタルサイネージや車内映像表示システムとして新市場を創生されていく計画です。



「Advanced Floating Image Display」の表示イメージ(マクセルホールディングス株式会社様提供)

日本カーバイド工業株式会社は、道路標識や海外のカーナンバープレートに使用される再帰反射シートを長年提供してきたことから、反射材(リフレクター)を用いて、再帰反射方式で空中に映像を再表示させる空中ディスプレイ技術を開発しました。新型コロナウイルス感染拡大を受け、空中映像を非接触操作パネルとして活用しようという技術は、各方面で注目されています。

HMI (Human Machine Interface): 人間と機械が情報をやりとりするための手段やそのための入出力装置

LLIS (Laser Like Image Source)技術: マクセル株式会社様独自の映像光制御技術

マクセルホールディングス株式会社様 ニュースリリース(2020年7月27日)

「高輝度で視認性のよい空中映像と高精度の空中操作が可能な
非接触HMI『Advanced Floating Image Display』を開発」

https://ssl4.eir-parts.net/doc/6810/ir_material21/144618/00.pdf

日本カーバイド工業株式会社 「空中ディスプレイ用リフレクター」についてはこちらをご覧ください

https://www.carbide.co.jp/product/airial_display/

【会社概要】

名称 : 日本カーバイド工業株式会社 (英文名称 NIPPON CARBIDE INDUSTRIES CO.,INC.)

所在地 : 〒108-8466 東京都港区港南 2-16-2

HP : <https://www.carbide.co.jp/>

代表者 : 代表取締役社長 杉山孝久

設立 : 1935(昭和10)年10月8日

資本金 : 7,055,569,133 円

株式 : 東証一部上場

従業員数 : 連結 3,597 名 単体 468 名 (2020年3月末現在)

グループ事業内容:

電子・機能製品事業、フィルム・シート製品事業、建材関連事業、エンジニアリング事業

製品に関するお問い合わせ先

日本カーバイド工業株式会社 事業開拓・開発部

担当: 佐名川

電話 03-5462-8280 msanagawa@carbide.co.jp

メディアの皆さまからのお問い合わせ先

日本カーバイド工業株式会社 経営企画部 広報・IRグループ

担当: 剣持

電話 03-5462-8224 prir@carbide.co.jp